



# 仙台市における環境負荷軽減 に向けた公共交通推進取り組み

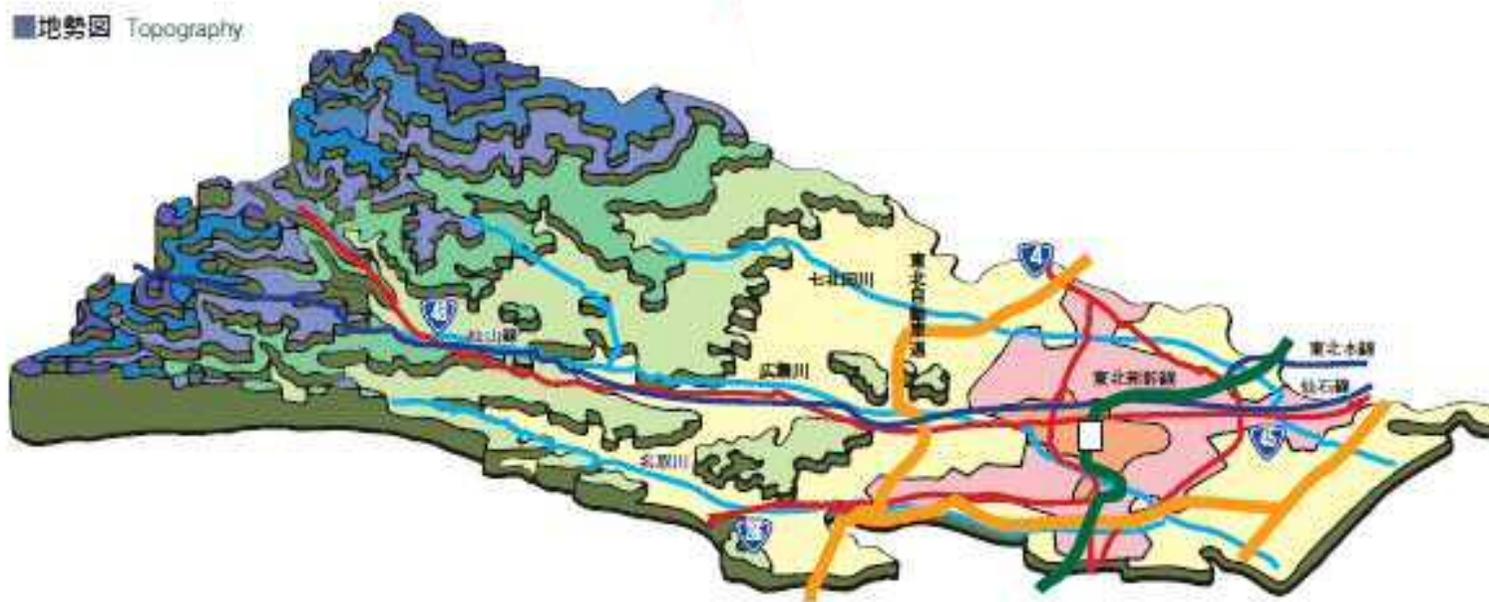
平成28年2月  
仙台市

## ■ 仙台市の地勢

面積 785.85 km<sup>2</sup>

東西 50.85 km、南北 31.20 km

■地勢図 Topography



## ■ 仙台市基本計画

### ○ 仙台市の目指す都市構造

環境負荷の小さい都市構造

量的な拡大から質の向上を重視する社会への転換



過度な車利用を抑制し、**公共交通を中心**とした交通体系の構築  
土地利用と交通政策の一体的推進による**機能集約型都市構造**の形成

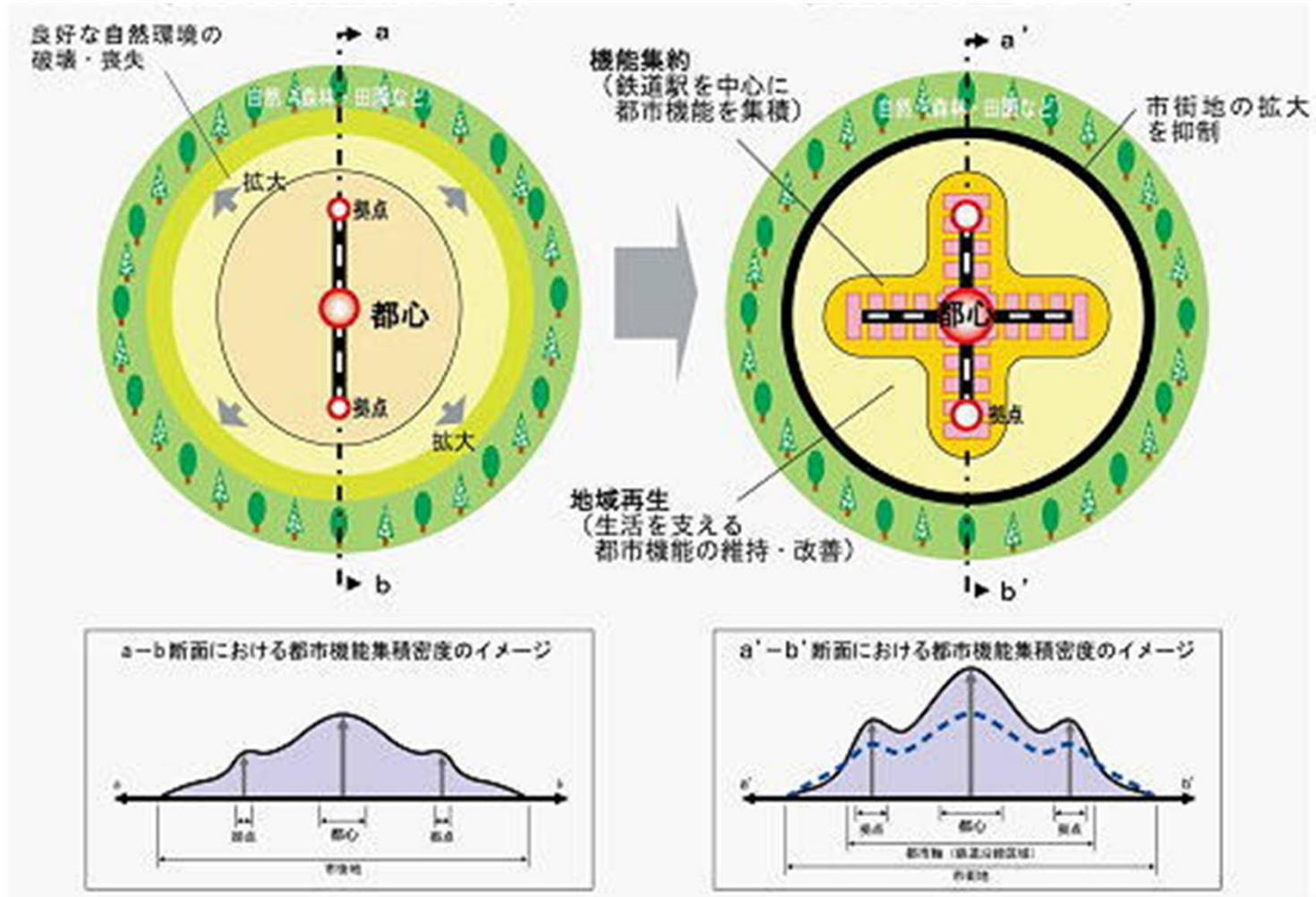


東西南北に地下鉄を配し、その軸上に都市機能を集約する

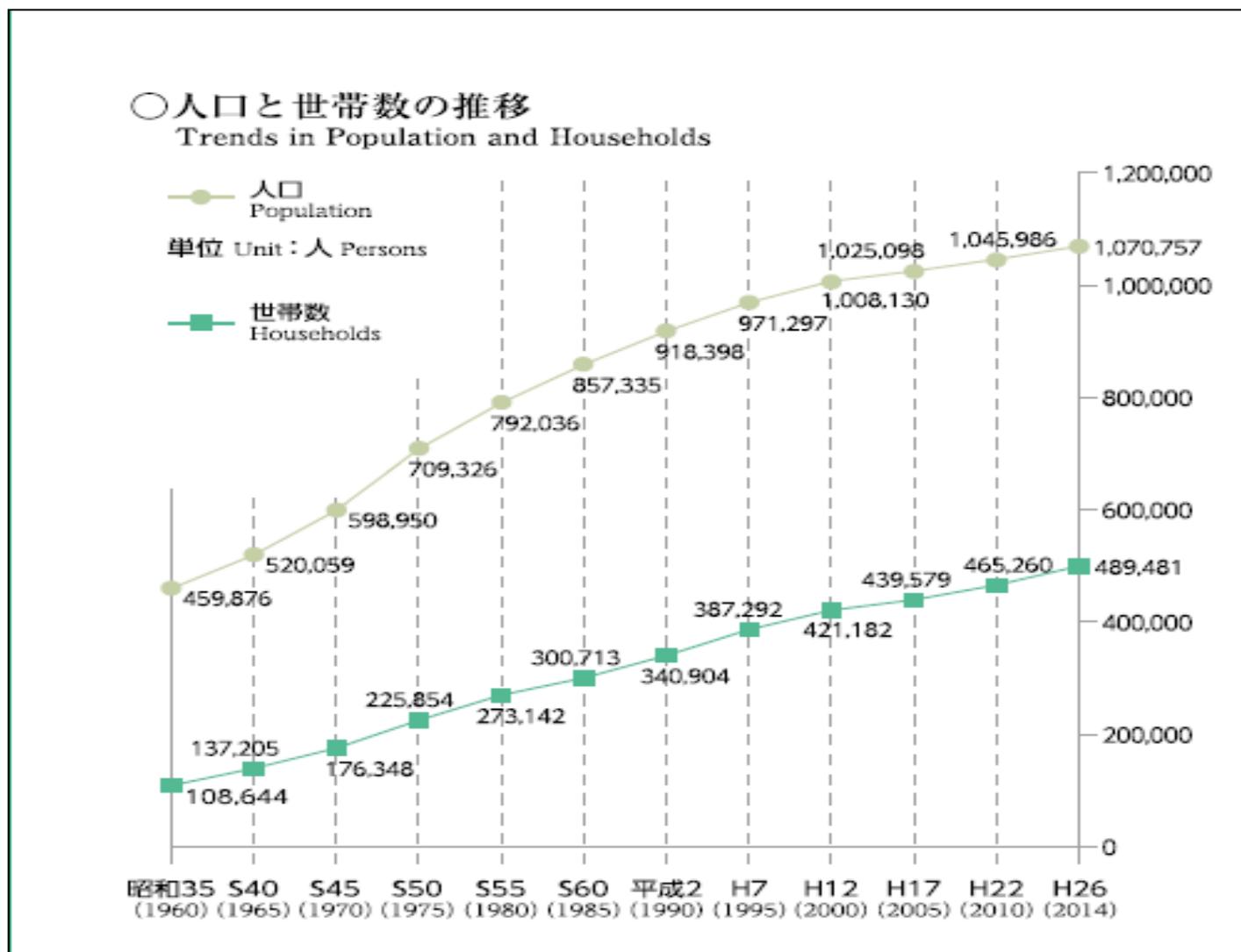
# ○仙台市の目指す都市構造

■これまでの市街地形成のイメージ

■目標とする都市構造のイメージ

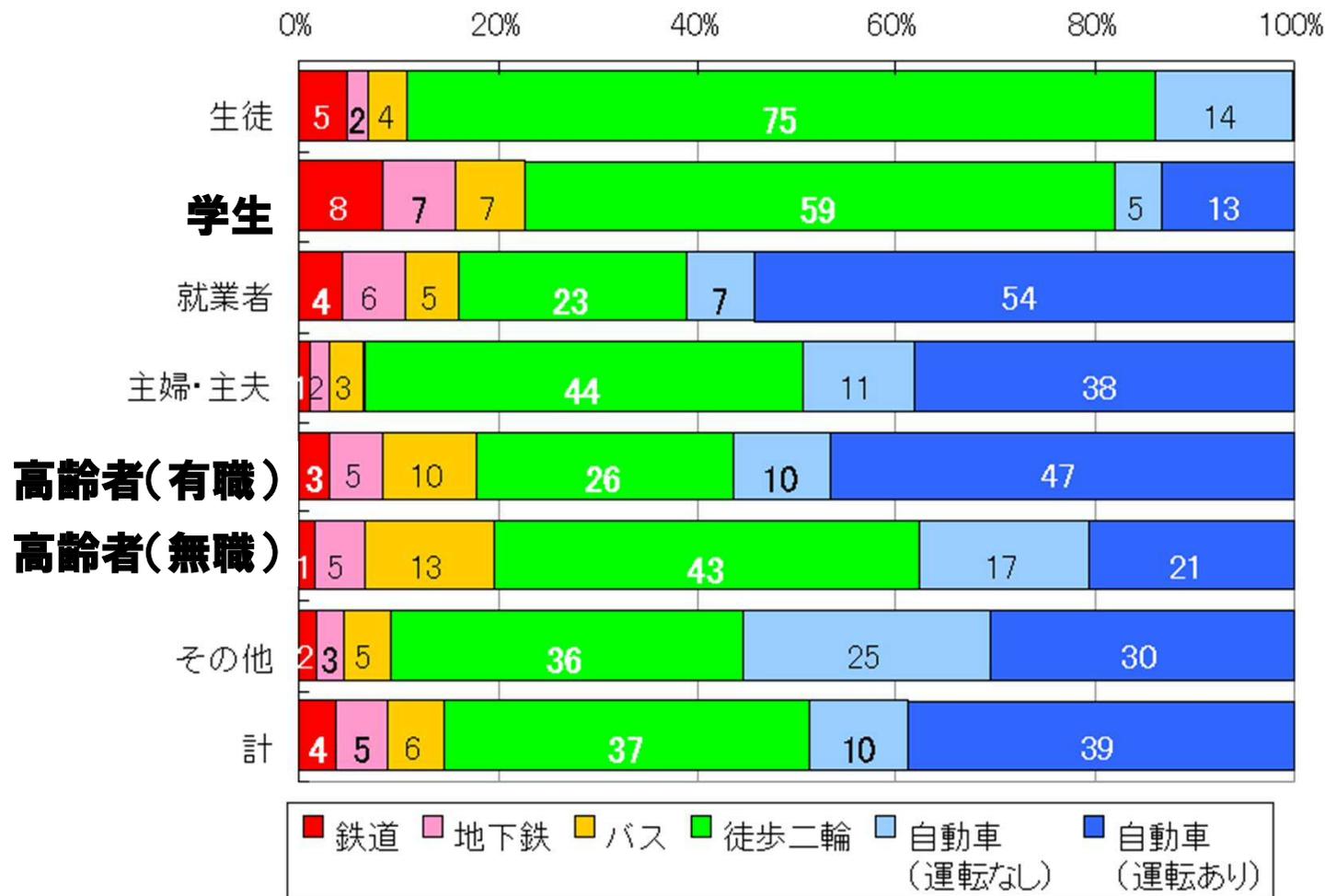


## ○ 仙台市を取り巻く状況



# ○ 仙台市を取り巻く状況

## 世代別に見た移動手段の構成

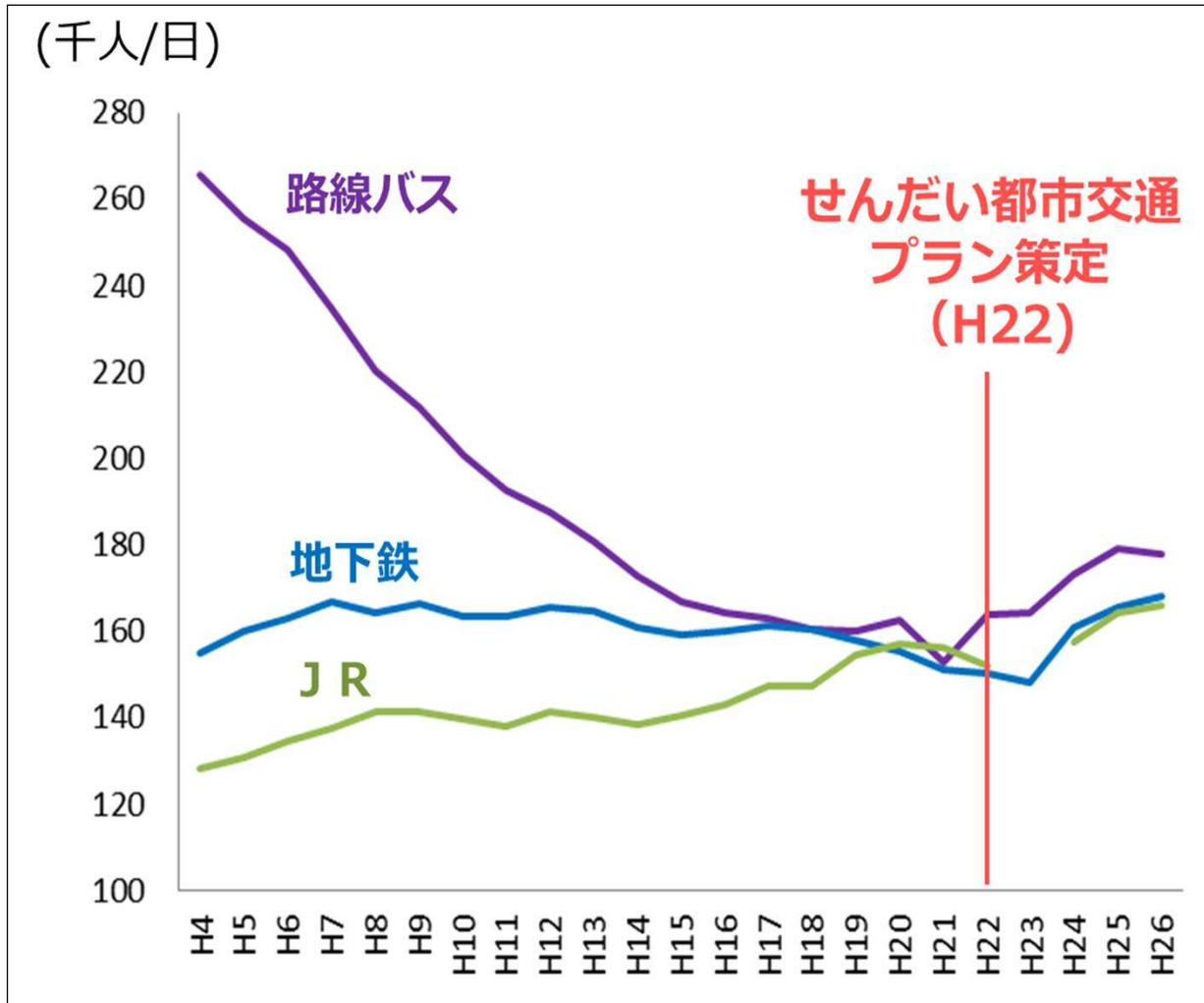


資料: 第4回仙台都市圏パーソントリップ調査(平成14年) 注) 仙台市居住者の集計



# ○ 仙台市を取り巻く状況

## 仙台市の公共交通利用者数の推移



### ○ 路線バス

H22-H26

164千人/日→178千人/日  
(14千人/日、8.5% 増)

### ○ 地下鉄

H22-H26

150千人/日→168千人/日  
(18千人/日、12.0%増)

### ○ JR

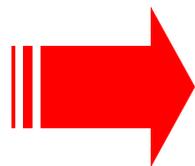
H22-H26

152千人/日→166千人/日  
(14千人/日、9.2%増)



## 都市交通の方向性

- ◆人口減少時代の到来、高齢化の進行という社会情勢の中、鉄道利用者は横ばい、バス利用者は長期的に減少傾向にあり、事業者の厳しい経営状況から、現在のサービスレベル確保が困難



このままでは、クルマがないと移動しづらい、暮らしにくいまちに！

- ◆そこで・・・

○公共交通を便利にし、地域の足を確保



暮らしやすいまち

○都心内の移動のしやすさを確保



にぎわいのあるまち

## 「せんだい都市交通プラン」の策定（H22.11）

- ◆目標とする将来の交通体系を提示
- ◆地下鉄東西線の開業を見据え、  
概ね10年間で取り組むべき交通施策を明示

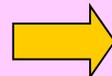
### 【目 標】

公共交通の利便性向上により暮らしやすさを確保し、  
にぎわいのあるまちを市民の皆様とともにつくっていきます。

# せんだい都市交通プラン

将来の交通体系

過度な自動車依存型



公共交通中心

基本方針

公共交通をさらに便利に

都心の交通環境をもっと快適に

市民協働による地域の足の確保

交通施策

鉄道中心の交通体系構築

利用しやすい交通サービス

環境に優しい交通手段への転換

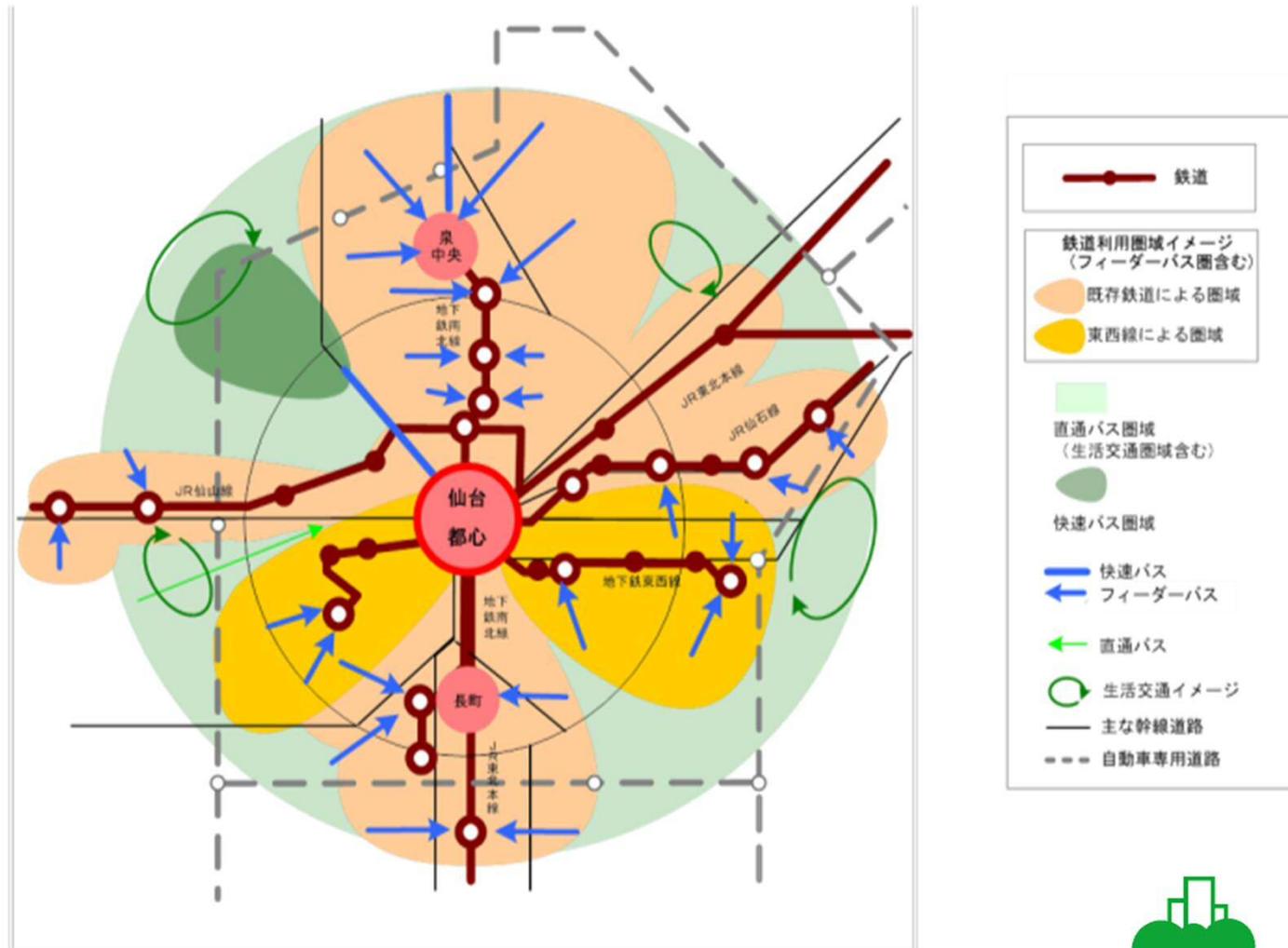
- ① 地下鉄東西線整備
- ② 鉄道と連携したバス路線再編等

- ③ 利用しやすい運賃
- ④ IC乗車券導入
- ⑤ バリアフリー推進等

- ⑥ 自転車利用の促進
- ⑦ 「せんだいスマート」の推進等

# ○目指すべき将来の交通体系のイメージ

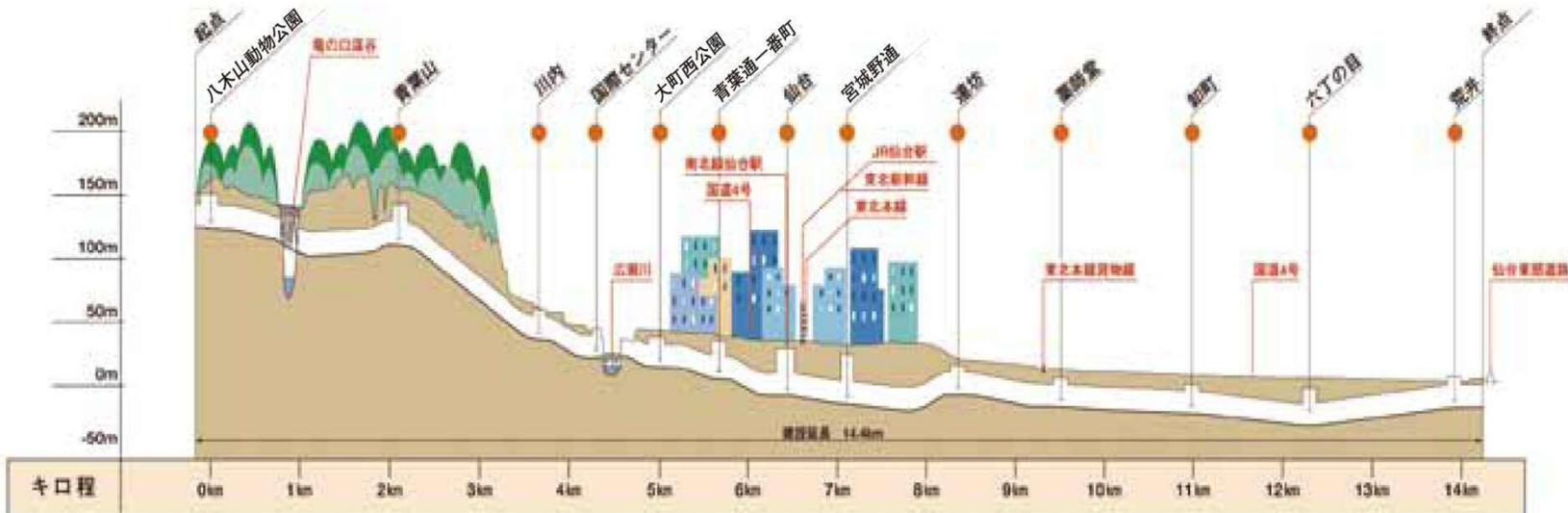
●公共交通を中心とした、過度にクルマに依存しない交通体系



# 地下鉄東西線の概要

	東西線	南北線
		平成27年 12月開通
営業キロ	約13.9km	約14.8km
駅数	13駅	17駅
車両数	1編成4両、15編成60両	1編成4両、21編成84両
定員	1編成あたり388人	1編成あたり576人
軌間	1,435mm	1,067mm
駆動方式	リニアモーター式	回転モーター式
運行間隔	朝ラッシュ時 約5分 日 中 約7分半 夕ラッシュ時 約6分	朝ラッシュ時 約3~5分 日 中 約7分半 夕ラッシュ時 約5分半
運行時間帯	5時台~23時台	5時台~23時台

## ■ 地下鉄東西線の整備



## ■ 地下鉄東西線の整備

### ◆ 駅前広場の整備

八木山動物公園駅



薬師堂駅

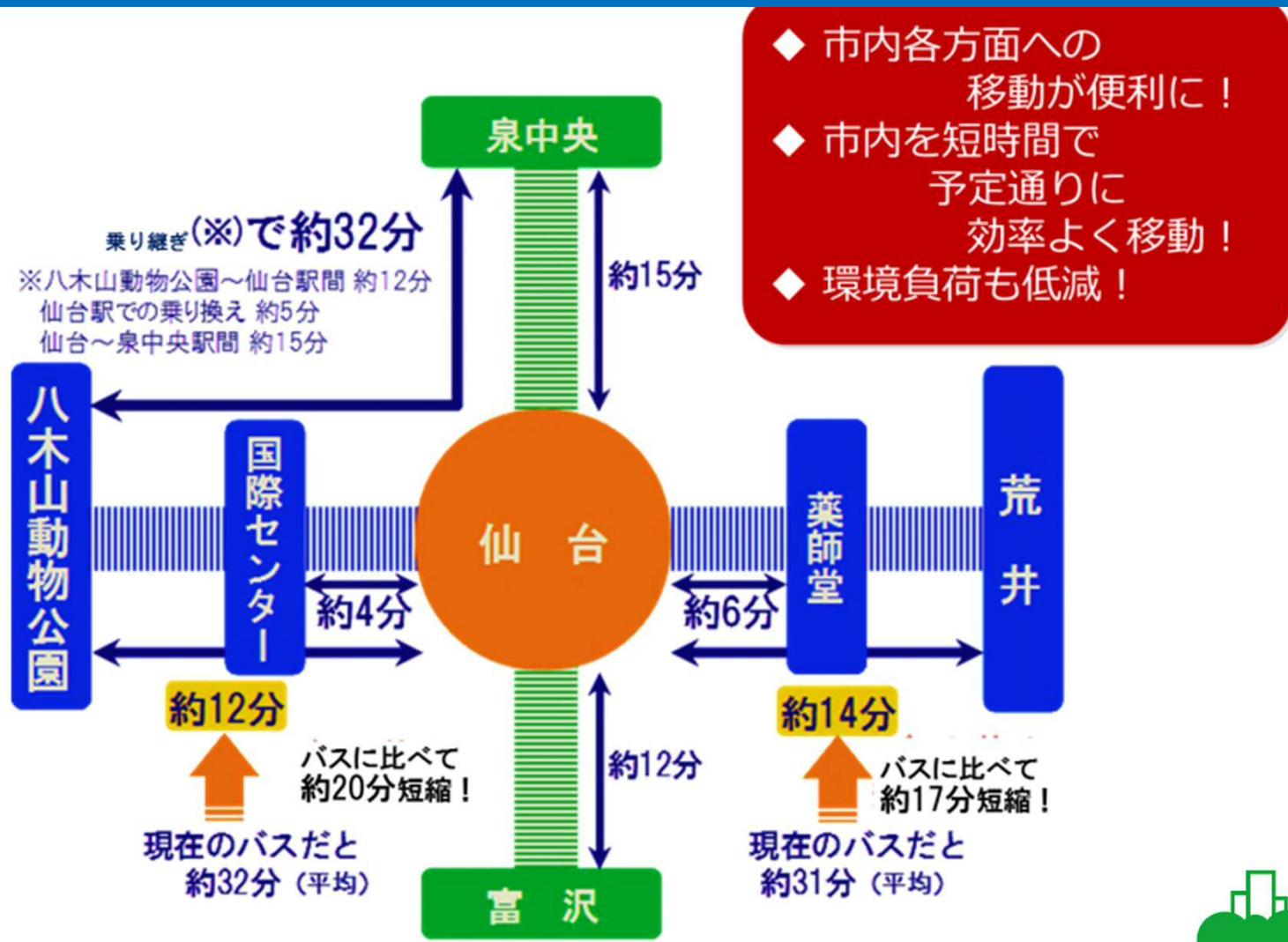


荒井駅



- 駐輪場整備
- 東西線 13駅
- 自転車 3,504台
- 自動二輪 971台
- (一部駅を除き、H27.12供用開始)

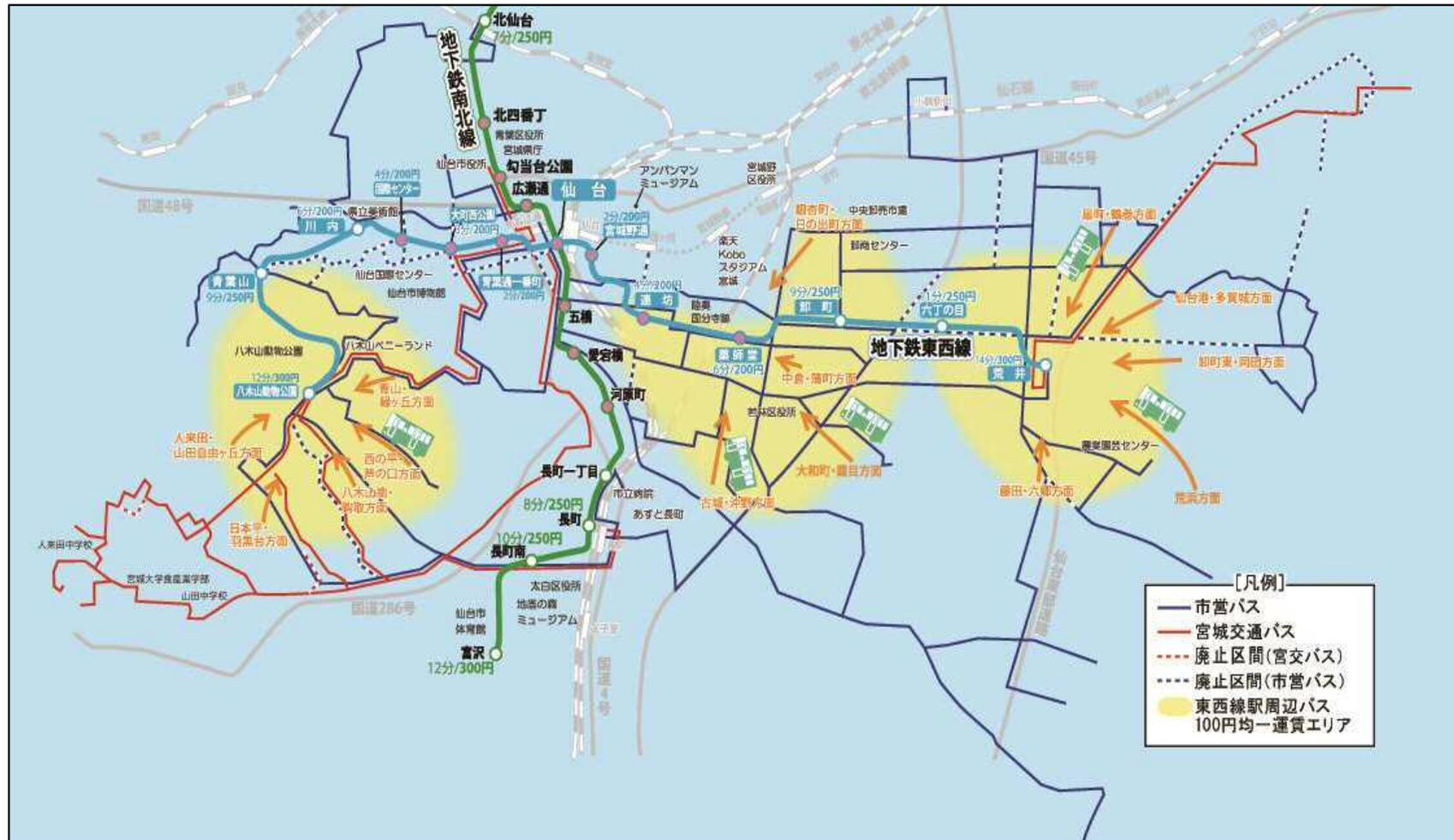
# ■ 地下鉄東西線の整備（地下鉄利用のメリット）



- ◆ 市内各方面への移動が便利に!
- ◆ 市内を短時間で予定通りに効率よく移動!
- ◆ 環境負荷も低減!

## ■ 鉄道と連携したバス路線への再編

- 地下鉄東西線の開業を見据え、定時性・速達性の高い鉄道に乗り継ぎができるようなバス路線網への再編





## ■ 利用しやすい運賃の設定 (学都仙台市バス(＋地下鉄)フリーパス)

○「市バス」または「市バスと地下鉄」で通学する学生・生徒・児童等を対象に、全線で乗り降り自由。

○市バスフリーパス ... 市バスで乗降可

①大人(中学生以上)...5,140円/1ヶ月

②小児(小学生以下)...2,570円/1ヶ月

○市バス・地下鉄フリーパス

... 市バス及び地下鉄南北線で乗降可

①大人(中学生以上)...10,280円/1ヶ月

②小児(小学生以下)... 5,140円/1ヶ月



■ 学都フリーパス販売枚数の推移(1ヶ月定期枚数ベース、3ヶ月定期は3枚で計上)単位:枚

券種	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H22－H26
市バス	87,133	97,716	115,698	127,163	126,100	1.44倍
市バス・地下鉄	27,542	31,909	39,488	43,967	42,897	1.56倍

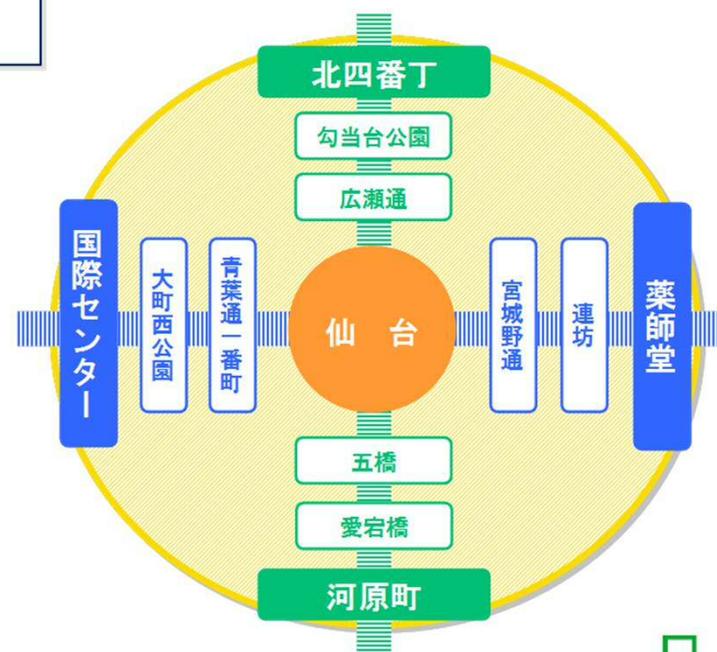
■ 利用しやすい運賃の設定  
(地下鉄200円均一運賃)  
※東西線開業にあわせて導入

✓ 制度を導入した際の運賃例

北四番丁駅⇔薬師堂駅の場合：200円  
(制度を導入しない場合は250円)

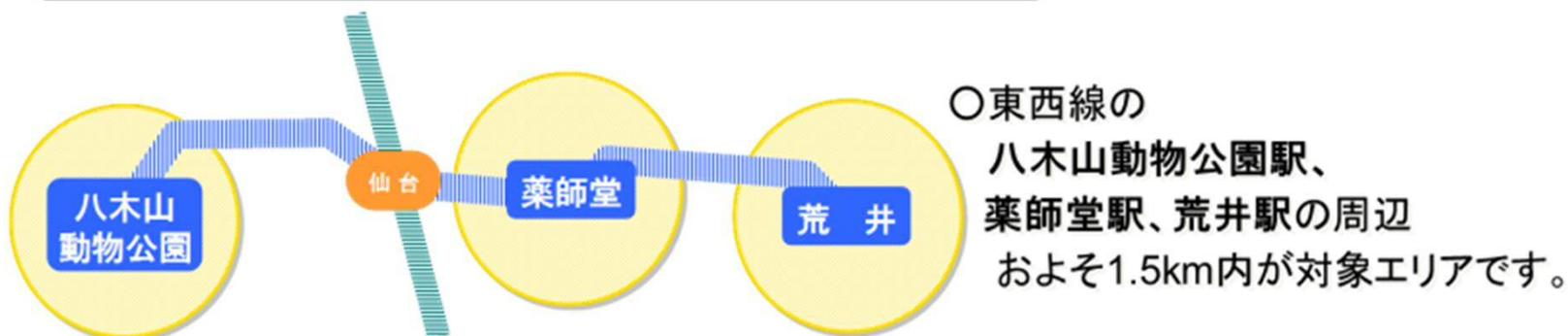
『地下鉄200円均一運賃』  
対象エリア

都心でのビジネスや買い物などに、東西・南北の地下鉄を気軽に利用し、快適に移動できる！



## ■ 利用しやすい運賃の設定 (東西線駅周辺100円均一運賃) ※東西線開業にあわせて導入

『東西線駅周辺バス100円均一運賃』対象エリア



### ✓ 制度導入前後の運賃の比較例

・現在の150円区間の場合 導入前:150円 → 導入後:100円

- ✓ 快適な東西線と運賃が割安なバスを、気軽に乗り継ぎ！
- ✓ まちづくりが進む東西線駅周辺での移動にも便利！

# ■ IC乗車券の導入 (『icsca イクスカ』の導入)

◆改札機やバス車内の読取部にタッチするだけで地下鉄やバスが利用できる

◆導入時期

平成26年12月6日⇒南北線

平成27年(東西線開業時)⇒東西線、市営バス、宮城交通バス

平成28年春 ⇒ 仙台圏のJR線でも利用できるように



◆販売枚数:約31万枚(平成28年1月末現在)

◆地下鉄利用者の約4割が使用

## ■ 自転車利用の促進

(コミュニティサイクルの導入)

**DATE  
BIKE**



平成25年3月導入

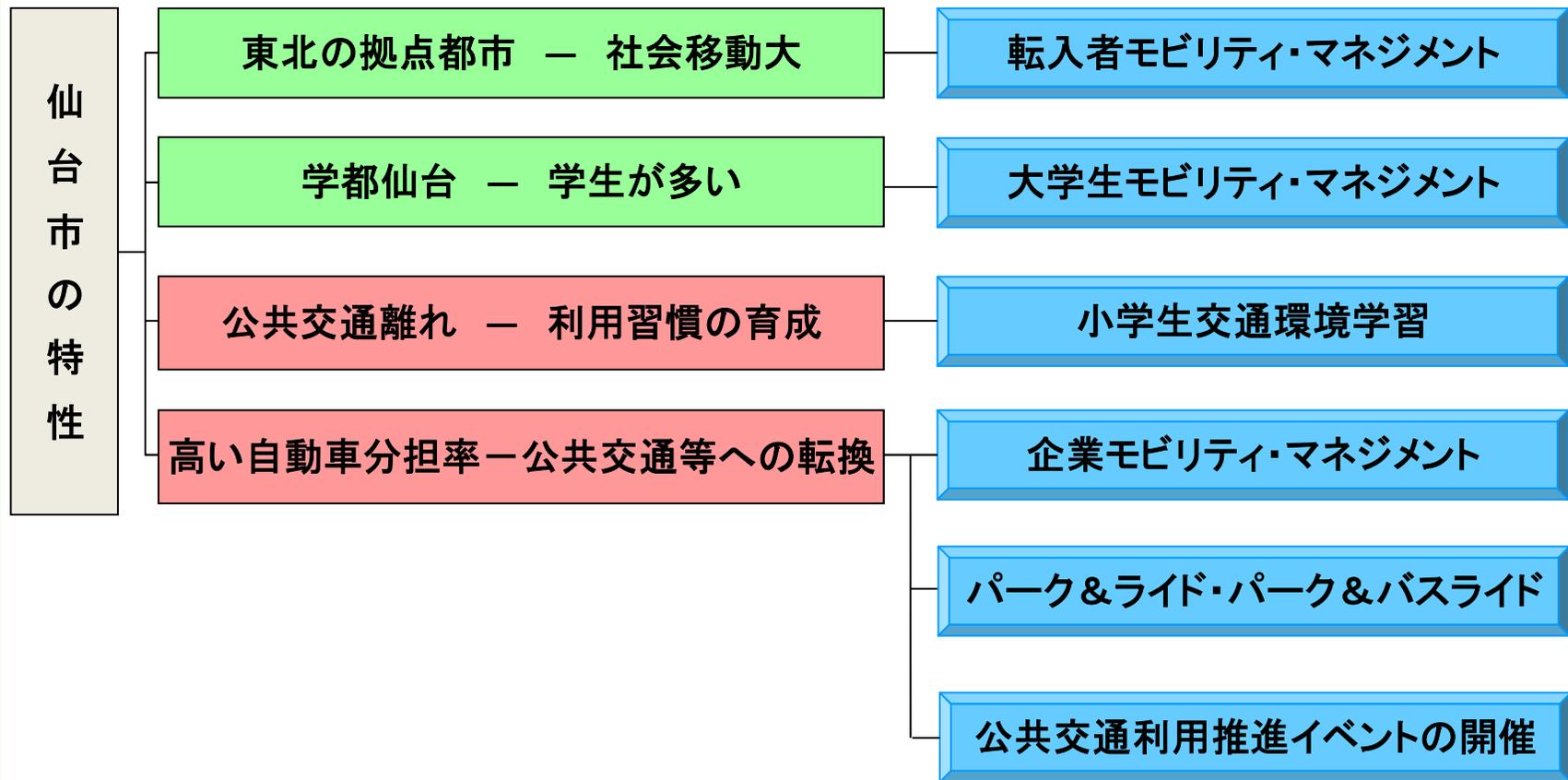
利用回数: H25年度(8月) 99回/日 → H27年度(8月) 378回/日(3.8倍)

ポート数: H25年度 24カ所 → H27年度 38カ所(8月末) (1.6倍)

自転車台数: H25年度 100台 → H27年度 195台(8月末) (1.95倍)

# 「せんだいスマート」の推進

対象者に合わせた効果的な動機付け施策(モビリティ・マネジメント)を実施



ご清聴ありがとうございました